

2024年度 介護老人福祉施設サルビア 事業計画

介護老人福祉施設サルビア
施設長 清澤 秀彦

1. 運営方針

入居者を管理するのではなく、「日常生活の継続」を基本に、入居者の「個性を大切に」しながら、「プライバシーとプライドを守るケア」を行い、入居者が「自分らしく生きること」を支援します。

2. 施設目標及び行動計画

①「生産性を高めるための業務改善」を3か年計画で進める（1年目）

・「業務の簡素化」

無駄な付帯業務の廃止、業務フローの見直し、有償ボランティア等の活用を検討する。

・「柔軟な職員配置」

職員不足やケアが集中する時間帯に、フロアを横断的にカバーする介護職員の配置を進め、介護職員常勤換算52.5を目指す（現在54.775）。（残業削減、処遇改善、有休取得しやすい職場環境づくりにもつなげる）

②ケア水準の底上げと定着を行う

・「2023年度に取り組んだ3つのプロジェクトの成果物を標準支援として活用」

3つのプロジェクト（ケアの基本姿勢点検ツール作成、終末期ケアスキル向上、自然排便推進）の成果物を標準支援として定め、全介護職員に定着を図る。

・「データを活用した支援」

各種データ（LIFE、眠りSCAN、Dfree等）を活用したケアプランの作成及び支援を行う。

③生きがい支援の充実を図る

・「各種活動の再開・刷新」

サルビアサロン、クラブ活動、ボランティア活動、ご家族交流、地域交流、園児との交流等、今の時代に合わせて再開し、生きがい支援につながる交流の場を再創出する。

3. 年間行事予定

①サルビア祭り（年1回）

②家族会及び家族向け勉強会（年1回）

③ユニット毎の催し（随時）

誕生日会をはじめとする入居者の希望に応じたイベント、他

④ボランティアの協力による催し（随時）

サルビアサロン、各種クラブ活動、コンサート、繕い物、他

⑤季節の行事

繭玉作り（1月）、節分（2月）、観桜会（4月）、七夕（8月）、敬老会（9月）、焼き

芋会（10月）、クリスマス会（12月）、餅つき（12月）、他

⑥地域交流

梓川氷室地区の児童との交流、梓川小学校PTAとの交流、梓川地区民生児童委員及び梓川地区ボランティアによるボランティア活動、保育所さるびあ園児との交流、他施設職員との交流、他

4. 研修予定

①全体研修、訓練

感染症対策（訓練含む）：2回/年、災害対策（訓練含む）：2回/年、事故対策：概ね1回/月、権利擁護・高齢者虐待防止・身体拘束廃止：2回/年、終末期ケア：1回/年、医療的ケア（褥瘡予防、喀痰吸引・胃ろう等）：1回/年、認知症ケア：1回/年、その他：適宜

②新人教育

採用時研修：法人全体3日間特養2日間、介護技術研修2回/年、排泄ケア研修1回/年、チューター制度：1年間

③法人内事業所交流研修、他施設交流研修

松本地域ユニット型施設交流研修「ほっとケアの会」の再開、法人内事業所交流研修、他施設交流研修の検討

④その他

職員各自の目標に沿った研修参加（ネット配信研修活用、直接参加、オンライン参加）

以上

2024年度 あんじゅり事業計画

住宅型有料老人ホームあんじゅり/あんじゅり AW
管理者 小澤 倫世

1. 運営方針

ここは安住の里～我が家～そしてふるさと

- ・我が家のぬくもりをお届けします。
- ・衣・食・住の快適さと安心をお届けします。
- ・真心のケアで暮らしに笑顔と満足をお届けします。

2. 事業所目標及び行動計画

- ① 多様なニーズに対応できるように専門性を高めます。
 - ・事業所内での研修を開催する。(ヘルパー会議開催時月1回)
 - ・法人内研修の活用。
 - ・満足度調査の結果を元に現在のサービスの課題の洗い出しと見直しを行う。
- ② 事業所経営の継続的な安定化に取り組みます。
 - ・ご利用者の心身の状況に合わせたサービス内容の提案。
 - ・業務改善と設備の検討により経費削減。
 - ・人員配置に合わせた業務の見直し。

3. 年間行事予定

- ① 住宅型有料老人ホーム運営懇談会：1/年
- ② 季節ごとの行事:1/月
1月繭玉作り 2月豆まき 3月桜もち作り 4月お花見 5月花植え
6月ラベンダースティック作り 7月七夕飾り・紫陽花見学 8月納涼会
9月敬老会 10月ケーキバイキング 11月お寿司会 12月クリスマス会
- ③ 避難訓練：2/年

4. 教育・研修予定

- ① 全体研修
感染症予防：2回/年、災害：2回/年、虐待防止・身体拘束廃止：2回/年、認知症ケア：1回/年、苦情：1回/年
- ② 個人研修各々でキャリアパスに沿って個人年間研修計画を作成（4月）
計画に沿って研修を行う。

以上

1・運営方針

- ・ここは安住の里 ～我が家～ そしてふるさと
- ・我が家のぬくもりをお届けします
- ・衣・食・住の快適さと安心をお届けします
- ・真心のケアで暮らしに笑顔と満足をお届けします。

2・事業所目標及び行動計画

- ① 業務改善による入居者個々に沿ったケアが提供できる。
 - ・スキルを活かした質の高いケアが提供できるよう、業務の簡素化、標準化、平準化をヘルパー会議で検討する。
 - ・記録システムを活用し、情報共有から入居者個々に沿ったケアの提供を行う。
- ② 我が家で最期の瞬間まで安心して暮らすことができる。
 - ・多職種連携により看取りケアの充実を図り、最期の瞬間まで自分らしく暮らせるよう安心、安楽な環境を整える。
 - ・終末期ケア専門士の資格取得推進を図り、専門的スキル強化を図る。
- ③ 行事やレクリエーションを積極的に企画し、笑顔と満足を得る機会を更に増やすことができる。
 - ・参加型中心の企画を立案し、入居者の希望に沿った、行事やレクリエーションを行う。

3・年間行事予定

- ① 1回運営懇談会を行い、入居者、ご家族様、民生委員、近隣の方からのご意見を運営に反映させるようにする。
外部ボランティア
- ② 季節の行事
繭玉作り（1月）、ひな祭り（3月）、お花見会（4月）、花植え（5月）、七夕祭り（7月）、夏祭り・スイカ割り（8月）、敬老の日（9月）、ハロウィーン（10月）、焼き芋会（11月）、クリスマス会・演奏会（12月）
- ③ 季節ごとの特別メニューの提供
（おやつレク月1回、正月、敬老の日、クリスマス行事食）
季節湯の実施（リンゴ湯、ゆず湯等実施）
避難訓練（年2回）

4・研修予定

- ① 全体研修
感染対策（訓練含む）：2回/年、災害対策（訓練含む）：2回/年、虐待防止・身体拘束廃止：2回/年、認知症ケア：1回/年、苦情窓口1回/年
その他：認知症基礎教育（4大認知症、周辺症状、接遇等）

② 個人研修

各々で個人研修を作成し、計画に沿って研修を行う。

以上

2024年度 愛香里 事業計画

住宅型有料老人ホーム愛香里/あかりAW

管理者 水谷 奈美江

1. 運営方針

ここは安住の里 ～我が家～ そしてふるさと

- ・我が家のぬくもりをお届けします
- ・衣、食、住の快適さと安心をお届けします
- ・真心のケアで暮らしに笑顔と満足をお届けします

2. 事業所目標及び行動計画

- ① その人らしさの生活、個別ケアを充実させる
 - ・本人からの言動、体調面の変化時に可視化して家族、関係者間とのスムーズな連携を計る。
 - ・専門的なスキルを幅広くして職員間で情報共有する。
 - ・モニタリングにより状態にあったサービスを見直して改善していく。
 - ・先を見据えて本人の思い、家族の意向を確認していく。
- ② 専門的知識を習得する
 - ・外部研修の積極的参加を促す。
 - ・興味のある研修、その時施設の課題として必要な研修など情報の発信
 - ・毎月の研修報告者を決めヘルパー会議で発表する。
 - ・個々の課題を明確化してスキルアップに繋げる。

3. 年間行事予定

- ① 運営懇談会（年1回）
- ② 避難訓練（年2回）
- ③ 季節の行事
 - 繭玉作り、書初め（1月）、豆まき（2月）、お花見（4月）、七夕（7月）
 - スイカ割り、花火鑑賞（8月）、敬老会（9月）、ハロウィン（10月）、クリスマス会（12月）（利用者と一緒に計画、実行などの過程を行う）
 - その他随時おやつレクリエーションを実施（コロナ対策の為利用者参加型はその都度考えていく）

4・教育、研修予定

- ① 全体研修、訓練
 - 感染症対策（訓練含む）：2回/年、災害対策（訓練含む）：2回/年
 - 権利擁護・虐待防止・身体拘束廃止：2回/年、認知症ケア：1回/年
 - 苦情窓口：1回/年 その他：適宜
- ② 個人研修
 - 個人研修計画に沿って参加

以上

2024年度 千歳緑 事業計画

サービス付き高齢者向け住宅千歳緑/ちとせみどり AW

管理者 北澤 知美

1・運営方針

わたしらしく、いつまでも

- ・安心した暮らしができる環境を作ります
- ・住み慣れた地域で暮らすことができる支援をします
- ・生きがいを持ち続けることができる支援をします

2・事業所目標及び行動計画

- ① 入居者、地域に寄り添ったアットホームな施設を目指す
 - ・季節に合わせた行事、イベントの実施
 - ・アセスメントにより要望を引き出す
 - ・町会との交流
 - ・外部への訪問介護を維持する
- ② 自立支援から専門的ケアのスキルアップを目指す
 - ・個人目標を明確にし、事業所内研修を増やす
 - ・外部研修に参加し、個々のスキル向上に努める
 - ・認知症介護基礎研修、認知症介護実践者研修、認知症ケア専門士
終末期ケア専門士、口腔ケアマイスター、喀痰吸引の取得に努める
- ③ 運営の安定化を図る
 - ・有償サービスの活用
 - ・介護保険サービスの見直しを行い提供に反映する
 - ・他の事業所との応援体制をつくる

3・年間行事予定

- ① 運営懇談会（年1回）
- ② 避難訓練（年2回）
- ③ 季節の行事（年10～12回）

4・教育、研修予定

- ③ 全体研修、訓練
感染症対策（訓練含む）：2回/年、災害対策（訓練含む）：2回/年
権利擁護・虐待防止・身体拘束廃止：2回/年、認知症ケア：1回/年
苦情窓口：1回/年 その他：適宜
- ④ 個人研修

個人研修計画に沿って参加

以上

2024 年度 グループホームサルビア 事業計画

グループホームサルビア

管理者 西澤 守隆

1. 運営方針

地域資源を利用し地域との連携を図りながら、馴染みの関係の中で、自分の役割や居場所があり、我がままに暮らせ、自分が必要とする時にそばに必ず心を寄せてくれる人がいて、その関わりが「申し訳ない」と感じさせない暮らしを共にします。

2. 事業所目標及び行動計画

①おたっしやカフェの再開

- ・おたっしやカフェの内容を検討し、再開していく。
- ・4 月か 5 月を目安に再開をする。

②介護報酬改定に伴う体制整備

- ・ライフの活用
- ・生産性向上委員会へ参加し、事業所全体として取り組んでいく。

③認知症の人を知っていく努力の継続

- ・入居者のできそうなことを探っていき、一緒におこなっていく。
- ・認知症の人の言動に対して推測をおこなっていく。
- ・認知症に関する動画等を用いて勉強会の実施。

3. 年間行事予定 ※コロナの状況により開催の判断とする

- ① 運営推進会議 年 6 回 (2 か月に 1 回)
- ② おたっしやカフェ 毎月第 1 金曜日
- ③ サルビア祭り
- ④ 避難訓練 年 2 回
- ⑤ お花見、バラ園見学
- ⑥ 入居者お楽しみ会 月 1 回

4. 教育・研修予定

① 事業所内研修

感染対策研修、災害（火災・水害等）身体拘束廃止・虐待防止研修：各 2 回/年
認知症研修、事故対策、その他研修

② 外部研修

- ・認知症介護実践者研修
- ・長野県在宅老所・グループホーム連絡会主催の研修 等

以上

居宅介護支援事業所サルビア
管理者 船坂 菜津子

1. 運営方針

利用者の尊厳を尊重します。

利用者が自由にサービスを利用出来るようにお手伝いします。

思いやりの心を持った介護支援専門員を目指します。

2. 事業所目標及び行動計画

特定事業所として質の高いケアマネジメントを行い、地域の相談窓口となる。

① ケアマネジメントの質の向上

- ・事業所内勉強会、事例検討会の開催
- ・オンライン研修を活用して継続的な研修を行い、専門性を高める。
- ・3事業所合同勉強会の実施

② 安定した事業所の運営

- ・法人の行事等に合わせたの相談窓口の開設で、地域の相談窓口の存在をアピールする。
- ・ケアマネ一人当たりの担当利用者数（要介護に換算）が常勤1人当たり39件、非常勤1人当たり24件を目指す。
- ・事業継続計画を理解し、感染症や自然災害に備える。
- ・ICTの活用
- ・介護者の集いの継続的な開催
- ・指定介護予防支援事業者としての指定を受ける。

3. 年間行事予定

介護支援専門員会議（毎週火曜日）

介護者の集い開催

4. 教育・研修予定

① 事業所内研修（3事業所合同勉強会）

在宅でのターミナルケア

認知症勉強会

感染対策勉強会

虐待対応勉強会

事例検討、ケアプラン勉強会

② 外部研修・勉強会

他法人との事例検討会等

ケアマネ勉強会（ケアマネなんでも相談会）（毎月）

地域包括支援センター主催の勉強会

その他随時参加

以上

2024年度 ヘルパーステーションサルビア 事業計画

ヘルパーステーションサルビア
管理者 岩岡 由香利

1. 運営方針

その人がその人らしく、安心して住み慣れた家で、自立した生活ができるよう、笑顔と思いやりの心をもって支援します。

2. 事業所目標及び行動計画

① 専門職としての質の高いサービスの提供をおこなう

- ・職員が研修に参加して常に学ぶことを積極的におこなっていく
- ・職員が専門的な資格取得を目指していく
- ・ヘルパー会議などで研修の報告、実践をおこなっていく
- ・ターミナルの方や重度の利用者、認知症の方の積極的な受け入れをおこなっていく
- ・家族介護の負担軽減(ストレス軽減)の担い手になる

② 安定した事業所の運営を目指す

- ・居宅介護支援事業所にサービスの空き情報を定期的に送る
- ・今まで関わりのあるケアマネとの信頼関係を図り、さらに新しいケアマネからのサービスの依頼が来るように営業行っていく
 - ・毎日身体介護でサービスに入る方を4名は確保していく
 - ・職員が健康管理をしっかりとおこない、お互いを思いやり、笑顔で気持ち良く働ける職場環境を作っていく

3. 年間行事

- ・月1回のヘルパー会議

4. 教育・研修予定

① 事業所内研修

在宅でのターミナルケア、認知症、感染症の勉強会 3事業所の合同勉強会(居宅、さんぽみち)

② 全体研修

感染症予防、身体拘束廃止、虐待防止、認知症ケア:各1回/年

③ 外部研修

サービス提供責任者研修(1名)、個人研修計画に沿って参加、キャリアパスに応じて参加
以上

1. 運営方針

ピンピンきらり わたしらしく、いつまでも

- ①自分のしたいことのできる支援をします。
- ②自分で選べる支援をします。
- ③自分らしい体づくりの支援をします。

2. 事業所目標及び行動計画

① 加算等を活用した運営の基盤づくりができる。

- ・一日平均利用者数31名以上を目指す。
- ・継続的な新規利用者の確保、また振替利用の更なる定着を図る。
- ・科学的介護推進体制加算、ADL維持等加算、個別機能訓練加算Ⅱのデータ管理体制を作る。
- ・介護と機能訓練指導員との連携を強化し、機能維持が図れる体制の基盤づくり。

② 利用者や家族、また地域住民との繋がりを強化していく。

- ・他の介護保険事業所との交流、地域に向けて協力できる体制の基盤づくり。
- ・R5年度利用者満足度アンケート結果に基づく業務改善。
- ・筑摩児童センターとの交流再開。
- ・アロママッサージ等を通じ、利用者その家族と交流機会を設ける。
- ・アシストセンター松本として豊田町町会と災害時等の連携強化を図る。
- ・美事祭りの開催。

③ 職員同士が支え合える職場づくり。

- ・ヘルプ等の体制づくりに向け、サ高住との連携を図る。
- ・事業所目標や他職員の個人目標を理解し、職員間で共有する。
- ・中堅職員の育成。

3. 年間行事予定

① 季節の行事

繭玉作り／節分イベント／ひな祭り行事食／お花見送迎／畑作り／七夕飾り／収穫野菜で料理教室／干し柿作り／餅つき／初夢ジャンボずーらくじ

② ボランティア(有償含む)による行事

コンサート／麻雀スケッター／講談師／随時

③ その他

- ・イベントお菓子、パン教室／料理教室／外出プログラムの実施
- ・地域住民、筑摩児童センターとの交流

- ・庄内地区介護保険サービス事業所等による地域貢献を考える会への参加
 - ・アロママッサージ(有料)
- ・避難訓練(年二回、水害含む)
 - …災害時等の協力体制づくり、地域住民参加型訓練の実施
- ・学生ボランティア(アルバイト)／職業体験受け入れ／看護実習受け入れ
- ・庄内地区研修会や行事、清掃活動や防災訓練等への参加

4. 教育・研修予定

① 全体研修、訓練

- 感染症予防(訓練含む)…2回／年
- 虐待防止、身体拘束廃止…2回／年
- 感染症対策…2回／年
- 災害対策(訓練含む)…2回／年

② 内部研修

- PTによる研修…1回／年
- 認知症研修…1回／年
- その他研修…2回／年(外部講師予定)

③ 法人内研修

- 新人研修
- 随時

④ その他

- 各職員2回／以上の研修参加(オンライン含む)
- 職員各自の目標に沿い随時アナウンス

以上

2024年度 保育所さるびあ 事業計画

保育所さるびあ
園長 小岩井 綾

1 運営方針

「一人ひとりが健康で安全に過ごし元気に遊べる子どもの育成」

- ・子どもたちが笑顔で元気にのびのびと安心できる保育を提供します。
- ・その子らしさを大切にしながら個々の成長を支援し、園児、保護者と保育士が信頼関係を持ち、子育て期に安心して預けていただける保育園を目指します。

2 保育園目標及び行動計画

“笑顔で元気にのびのびと” よく食べよく寝て元気よく遊ぶ

① 保育所さるびあの特徴を活かした保育をする

- ・一人ひとりの子どもを大切にし、人権に配慮した保育を行う。
- ・少人数での保育のよさを活かし、アットホームな雰囲気大切にしながら子ども同士が刺激を受け合いながら互いに育ち合える保育環境を整えていく。
- ・散歩や戸外遊びなど、豊かな自然に触れてのびのび遊べるようにする。
- ・年間指導計画、月案、個別指導計画を作成し、今の子ども様子を捉えながら、様々な経験ができるような活動を考える。
- ・特養やグループホームの入居者さんとの交流の機会を設ける。

② 保護者の方に安心して預けていただける保育園を目指す

- ・日々の送迎時の対応、連絡ノートのやりとりなどを丁寧に行い、コミュニケーションを大切にしながら信頼関係を築いていく。
- ・インスタを活用し、在園児だけでなく、多くの方に園の良さ、存在をアピールする。
- ・午睡時の見守りセンサーの導入の検討。
- ・毎月の園だよりの発行や写真注文を通し、子どもの園での様子を家庭に知らせていく。
- ・安心安全な保育ができているか、日々見直しを行う。

③ 保育士の質の向上に努める

- ・全職員が企業主導型保育所としての役割を理解する。
- ・定期的に職員会を行い、それぞれの経験や良さを活かしながらも保育観のすり合わせをしていく。
- ・研修に積極的に参加し、職員会などでフィードバックすることにより、子どもたちにとってより良い保育環境を整える。

3, 年間行事予定

① 季節の行事

お花見、プール遊び、サルビア祭り参加、おいも掘り、焼き芋、クリスマス会、おもちつき参加、豆まき

② その他

保育参観 (年2回)

避難訓練 (毎月実施)

不審者対応訓練 (年2回)

身体測定 (毎月実施)

内科検診 (年2回)

歯科検診

誕生日会

サルビア交流会 (月1回程度)

4, 職員研修

- ・ 保育安全研修
- ・ 施設長研修
- ・ 3歳未満児担当保育士研修
- ・ 保育士等キャリアアップ研修
- ・ 法人研修

など

以上

2024年度 社会福祉法人梓の郷 経営管理部 事業計画

経営管理課長 高橋 健太
経営企画室長 高橋 優喜

1 運営方針

適正な人員配置と組織機能の充実化を進めます。

2 部署目標及び行動計画

職員の働きやすさ、働きがいに繋がる職場環境の整備と人材育成を目指します。

(1) キャリアパスとそれに連動した研修計画の立案と運用

- ① 個々の等級、役職に応じた研修の充実と情報提供
- ② 定期人事異動をおこなうための計画的な人材育成制度の作成・運用
- ③ 次世代リーダー候補の発掘と育成
- ④ ジェネラリスト育成のための法人内事業所間交流制度の試行

(2) 人材確保に向けた取り組み

- ① ハローワーク、教育機関等との連携強化
- ② 多様な働き方に対応できる環境の整備と職員への情報提供
- ③ 様々な認証制度を取得することで、職員の働きやすさと法人イメージUPにつなげる
- ④ 他業種・他学部からの人材獲得に向けたアクション（インターンシップ・スケッチャーなどの有効活用）
- ⑤ 計画的な人材確保に向けた採用計画の作成

(3) 持続可能な法人運営のための取り組み

- ① 経費削減及び費用対効果を念頭に、適切な外部委託の推進および契約内容の見直し
- ② 助成金・補助金の積極的活用

(4) 地域の福祉課題解決に向けた新規事業の検討

- ① 定期的なよりみちでのイベント開催とその場での地域福祉ニーズ発掘体制の確立

(5) 経営管理部内業務体制の見直し

- ① 業務に必要なスキル向上のための研修受講の推進（情報提供）
- ② 業務効率化のためのICT導入・活用方法の検討
- ③ 業務内容の見直しと簡素化・フラット化

以上